

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	教育庁生涯学習課
施策名	(4) わが国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	課(室)長名	宮崎 誠
事業群名	⑤ 表現力や想像力を高める子どもの読書活動の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

読書活動は、子どもの心を豊かにし、生きるための力を身に付けさせるとともに、学力の基盤を成すものであるため、学校・家庭・地域をはじめとする社会全体で子どもの自発的な読書活動を普及し、読書環境を整備することで子どもが自発的に読書に親しむように促します。

事業群指標	最終目標(H32)	基準値(H26)	実績(H27)	達成率	【進捗状況の分析】
不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%) ※小学生	小学生 1%以下	0.6%	0.8%	—	子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、また、子どもたちの読解力向上のための言語活動の充実を目的とした学校図書館の有効な活用や図書環境を整えるなど子どもの読書活動の推進を図ることが求められ、その必要性は高まっていることから、1人でも多くの子どもが本を手にするよう、不読者率を目標値として設定している。「第三次長崎県子ども読書活動推進計画」(平成26年度～30年度)に基づく取組により平成27年度の実績は、小学生と高校生においては達成できているが、中学生においては1%以下の維持が達成できておらず、今後とも重点的に取り組んでいく必要がある。なお本県は、全国平均と比較しても良好な状況である。 【平成27年度 不読者率の全国との比較】 小学生(県)0.8(全国)4.8 中学生(県)2.3(全国)13.4 高校生(県)11.7(全国)51.9
不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%) ※中学生	中学生 1%以下	2.2%	2.3%	—	
不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%) ※高校生	高校生 12%以下	11.6%	11.7%	—	
事業群の進捗状況					—

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i 子どもが自主的に読書に親しむ機会と環境の整備

- ・「長崎県の子どもにすすめる本500選」を活用した家庭読書啓発リーフレット(小学1年生対象)やブックリスト(小学3、5年生・中学1年生対象)を作成・配布し、学校や家庭等での活用を図ることにより、家庭読書の重要性や保護者への読書活動の啓発を図り、良書に親しむ機会を増やすなど、読書の質の向上につなげることができた。
- ・司書教諭や学校司書等を対象とした研修会を開催し、実務能力や学校図書館の有効な活用法等の技能向上を図り、子ども達が親しみながら利用できるような学校図書館の充実を図ることができた。また当課において、学校図書館を23校訪問し、ホームページにおいて紹介した。
- ・地域で学ぶ読書活動支援事業において、県内の子ども読書活動に取り組む団体(市町教委・公共図書館・民間団体・PTA等)が企画する研修等に対し、その講師謝金や旅費を支援することで、地域における県内のスキルアップを高めるなど研修機会の充実に役立てることができた。平成27年度は、40講座に対して支援し、年間のべ1,470人が参加した。
- ・子ども(幼児や小学生)とその保護者を対象とした「読書啓発イベント」を時津町において開催し、252名の参加を得た。著名な絵本作家等による講演や読み聞かせを開催することで、家庭読書の機運を高めることができた。
- ・「子どもの読書活動推進校表彰」において、子ども読書活動に顕著に取り組んでいる学校の表彰を行い、その取組をホームページで情報提供することで、学校における読書活動の活性化につなげた。平成27年度は、小学校5校、中学校2校、高等学校1校が受賞した。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率		
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—		
取組項目 i	子ども読書活動推進事業	H26-30	4,718	4,718	10,473	学校・家庭・地域	学校・家庭・地域が一体となり、子どもが主体的に読書に親しむ機会の提供や「家庭読書活動推進リーフレット」、「長崎県の子どもに勧める本500選」の作成、配布をするとともに、司書教諭等のスキルアップにかかわる研修等を実施した。	活動指標	地域の研修会への参加者数(人)	462	1,470	318%	・地域研修会の実施により、ボランティア等の資質向上に寄与した。不読者率については、小学生と高校生は目標を達成し、読書習慣の醸成に寄与した。中学生については、課題が残った。	○
			生涯学習課	3,310	3,310			10,485	成果指標	不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%)※小学生	1.0以下	0.8		
不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%)※中学生	1.0以下	2.3				43%								
	1.0以下	—				—								
不読者率(1ヶ月に本を1冊も読まなかった者の割合)(%)※高校生	12.0以下	11.7				102%								
	12.0以下	—	—											

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 子どもが自主的に読書に親しむ機会と環境の整備

家庭読書の啓発や司書教諭等研修会や地域における研修会などの一連の取組を通して、概ね読書に親しむ環境づくりや読書習慣の醸成に寄与している。成果指標のうち、中学生の不読者率については、生活習慣の変化等により目標を達成しておらず、重点的に取り組む必要がある。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】

i) 子どもが自主的に読書に親しむ機会と環境の整備
中学生の不読者率が未達成であるが、中学生が日常において本に触れる機会を確保していくため、引き続き「全校一斉読書活動」等の推進や、長崎県の子どもにすすめる本500選のブックリストの有効な活用など、学校への働きかけに更に力を入れて取り組んでいく。本県は、全国と比べても高いレベルにあり、今後もこの事業を継続していく。

【個別事務事業の見直し】

事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
子ども読書活動事業	②	平成28年度は、「全校一斉読書活動」等の推進や長崎県の子どもにすすめる本500選のブックリストの有効な活用の周知等を図ることで、中学生が良書に触れる機会の充実にも力を入れてきた。 平成29年度も、「第三次長崎県子ども読書活動推進計画」に沿って各事業に取り組んでいくが、今後さらに県全体で子ども読書活動を推進していくためのネットワークづくりを目指し、読書関係者が一同に介する子ども読書活動フォーラムなどの開催を検討する。	拡充